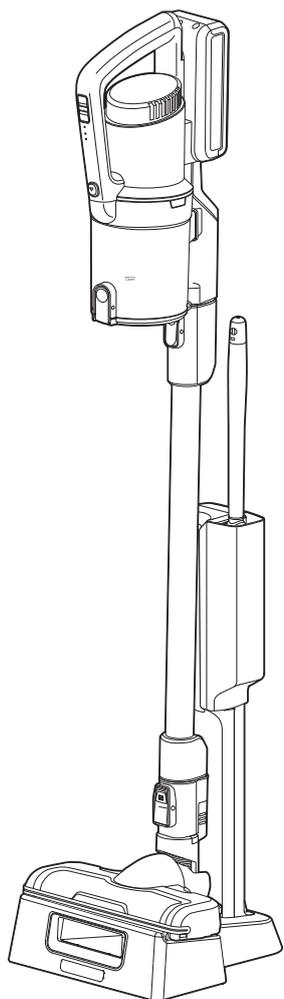


充電式サイクロン スティッククリーナー IC-SLD CP10



取扱説明書

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5

取り扱いかた

準備	7
使いかた	9
お手入れ	13
製品の廃棄のしかた	16

こんなときには

故障かな?と思ったら	17
保証とアフターサービス	18
仕様	19
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。

バッテリーについての注意



- 電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う
目に傷害が発生するおそれがあります。
洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。



分解禁止

- バッテリーは分解しない
発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。



- 内蔵以外のバッテリーを取り付けない
- 指定以外の方法で充電しない
- 本機のバッテリーを他の機器に使用しない
- 高温になる場所・直射日光の当たる場所で充電しない
- バッテリーを、火に投げ入れたり、加熱したりしない
- バッテリーを、高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- バッテリーを水につけない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、充電アダプターをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - 異常な音やにおいがする
 - 充電アダプターが異常に熱くなる→使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

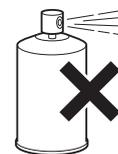


水ぬれ禁止

- 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない
- 本体や充電アダプターを水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけたり、吸わせたりしない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど）、可燃性のものを吸わせない
- 油煙や湯気を吸わせない
- じゅうたん洗剤など、泡状・液状のものを吸わせない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
吸い込むと火災の原因になります。



充電アダプターは正しく使う



● 充電アダプターのほごりは定期的に取り
ほごりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。

● 充電アダプターはコンセントの奥まで
確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になりま
す。



水ぬれ禁止

● ぬれた手で充電アダプターの抜き差し
をしない
感電・やけど・けがの原因になります。



● 充電アダプターが傷んだり、コンセント
の差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になりま
す。

● 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

● 乳幼児に充電アダプターをなめさせな
い
けがや感電の原因になります。



分解禁止

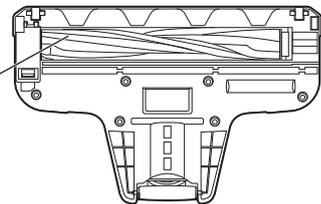
● 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理については、お買い上げの販売店また
は修理専用コールへお問い合わせください。



接触禁止

● フロアヘッドの回転ブラシに触れない
巻き込まれてけがの原因になります。特
に、小さな子どもがいる近くではクリー
ナーを使用しないでください。

回転ブラシ



バッテリーについての注意



● 電解液がもれたり、異臭がするときは、
直ちに火気から遠ざける
引火するおそれがあります。

● 電解液が皮膚や衣服についたときは、
すぐに洗い流す
皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。



● 電解液がもれたり、異臭がするときは、
使用しない
発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。

● バッテリーを廃棄するときは、乳幼児
の手の届く所に置かない
感電やけがの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的
損害が発生するおそれがある内容を示しています。



● 掃除以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。

● 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。
業務など家庭用以外で使用すると、火災な
どの原因になります。



● 運転中にダストカップを取り外さない
事故の原因になります。



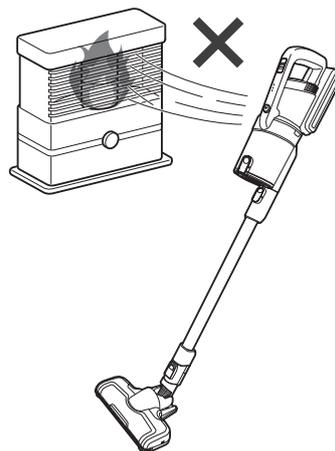
● 吸い込み口がふさがれたまま運転を続
けない

● 排気口をふさがない
過熱による変形・故障・火災の原因になり
ます。



火気禁止

● 火気・暖房器具などに近づけない
吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり
火災などの原因になります。



安全上の注意 つづき



- 乗ったり、寄りかかったりしない
- 幼児の手の届く範囲では使用しない
- 子どもに遊ばせない
けがの原因になります。
- 屋外では使用しない
故障してショートや火災の原因になります。



- 充電アダプターを抜くときは、コードを持たずに必ず充電アダプター本体を持って引き抜く
コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ず充電アダプターをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

- | | | |
|----------------------|------------------|---------------------------------|
| ● 水や液体、ぬれたごみなど | ● 多量の砂、小石など | ● 大きなごみ |
| ● 多量の粉（消火器の消火剤など） | ● ペットの糞などが付着したもの | ● ビニール袋やストッキングなど
内部につまりやすいもの |
| ● 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど | ● 多量のごみ | |

- ダストカップのごみは、ごみすてライン以上になる前に捨ててください。

- 本機は防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）など磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。

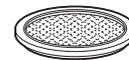
消耗部品について

- 別売品については、お買い上げの販売店またはアイリスプラザでお買い求めください。
- 排気フィルターについては、アイリスコールへご連絡ください。

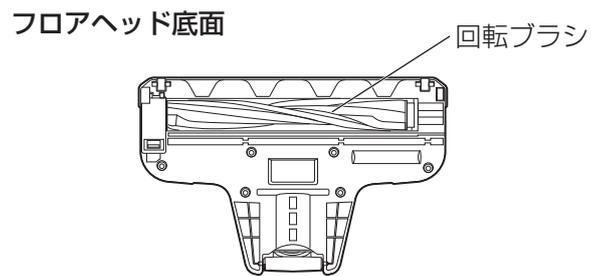
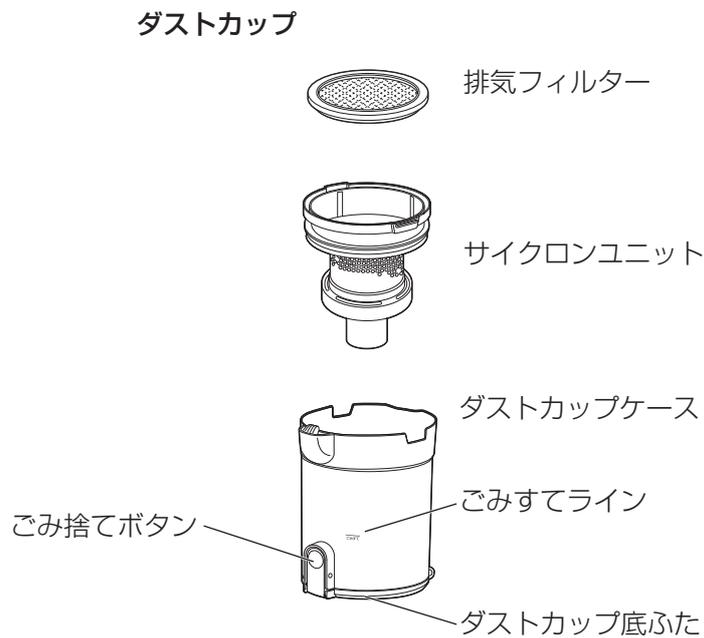
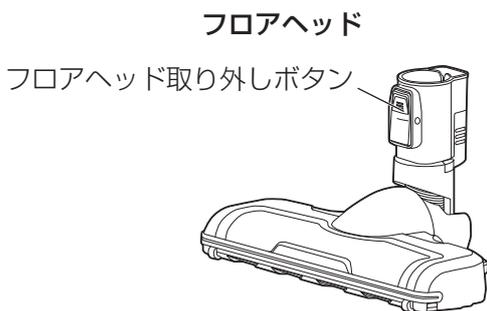
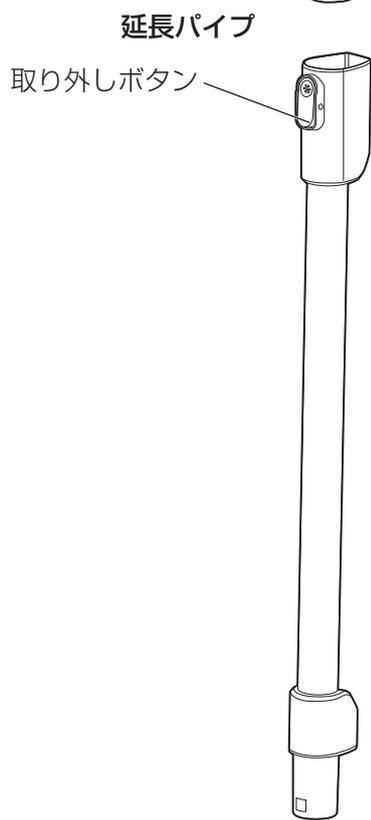
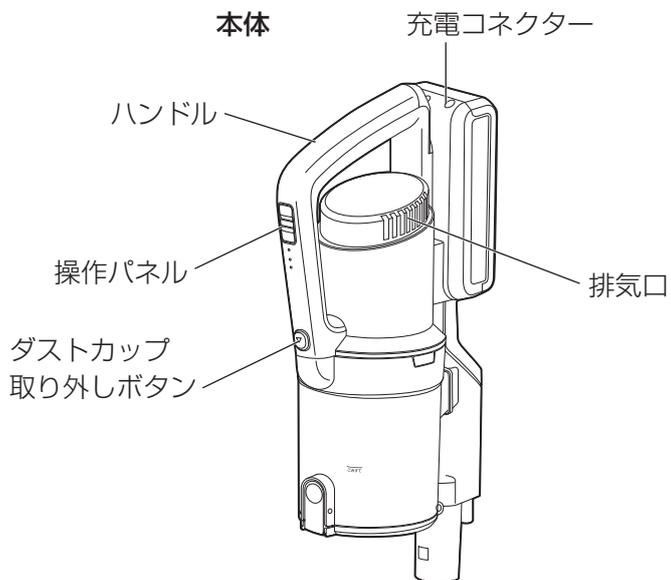
静電モップ
(別売品)
CHMO3-W



排気フィルター

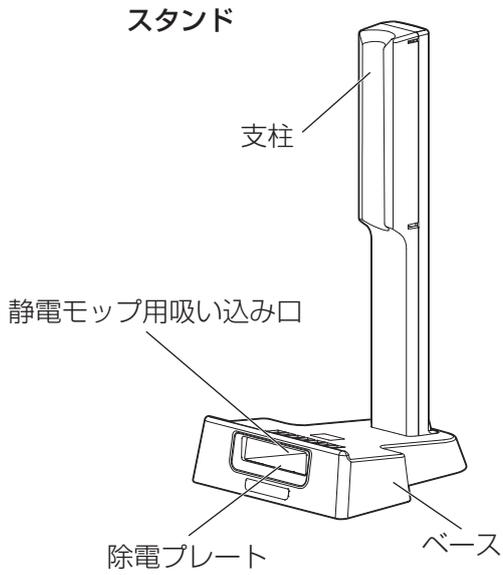


各部の名称

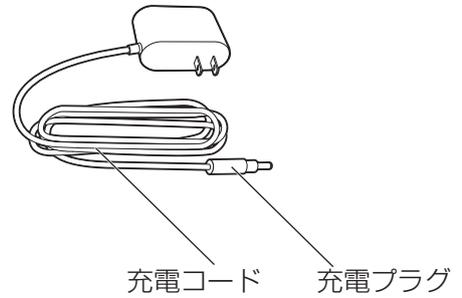


各部の名称 つづき

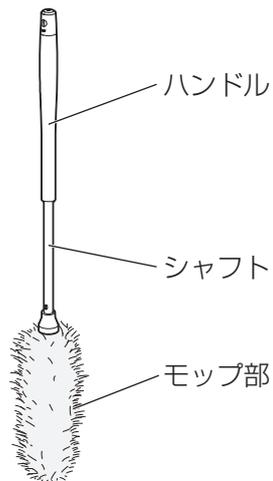
■ 付属品



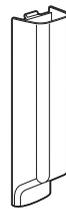
充電アダプター



静電モップ



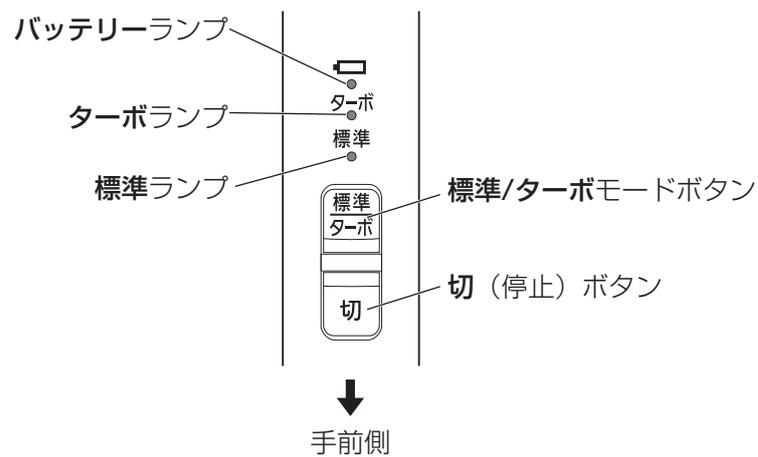
モップ帯電ケース



すき間ノズル



■ 操作パネル



準備

■ スタンドの組み立て

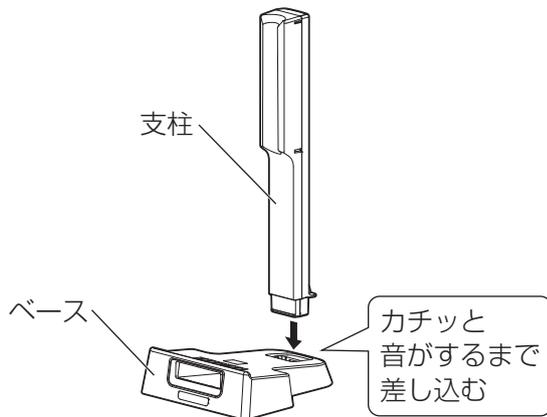


注意

- 必ず壁際で使用する
 - じゅうたんの上など不安定な場所に置かない
 - フローリングなど、固い安定した床の上に置く
- 万一人がぶつかって倒れたりした場合は、けがや周囲の物品の破損の原因になります。

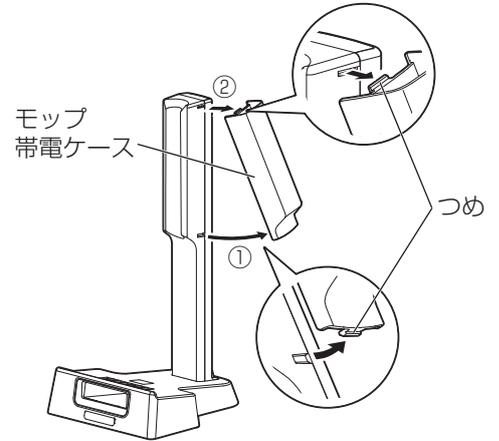
1 組み立てる

- ・ベースの差し込み穴に、支柱をしっかりと差し込んでください。



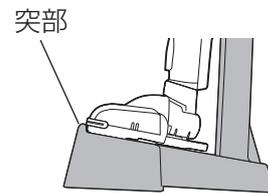
モップ帯電ケースの外しかた

- ①モップ帯電ケースの下側を引っばってつめを外す
- ②上側を引いてつめを外す



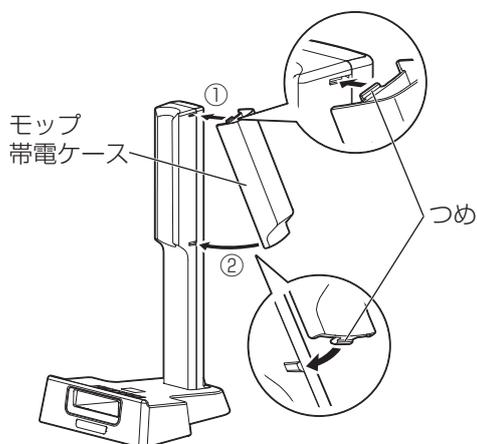
クリーナーを立てかける

- ・スタンドを組み立てたら、クリーナーを立てかけることができます。
- ・立てかけるときは、転倒防止のため、フロアヘッドの先端をベース前端的突部に当てて立てかけてください。



2 モップ帯電ケースを取り付ける

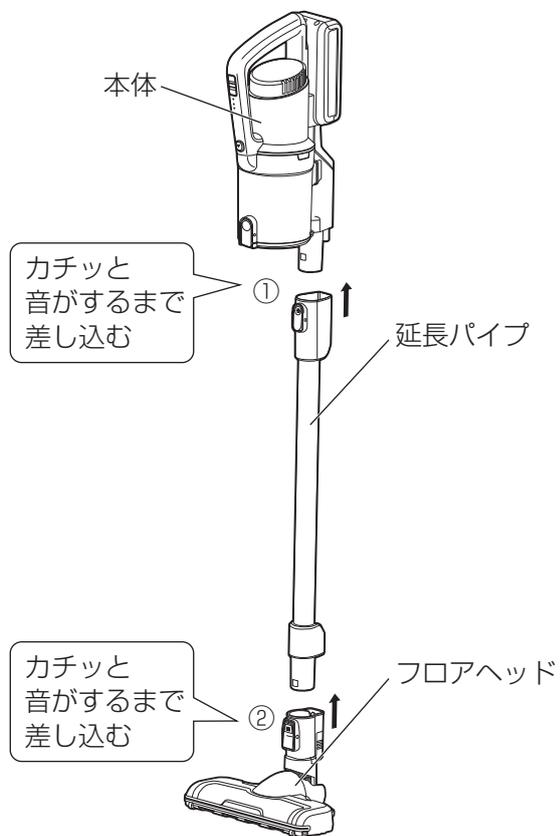
- ①モップ帯電ケースの上側のつめを、支柱の上側の穴に差し込む
 - ②モップ帯電ケースの下側のつめを、支柱の下側の穴に、パチンとなるまでしっかり差し込む
- ・モップ帯電ケースは、支柱の左右どちらでも取り付けできます。



■クリーナーの組み立て

スティッククリーナーとして使用するとき

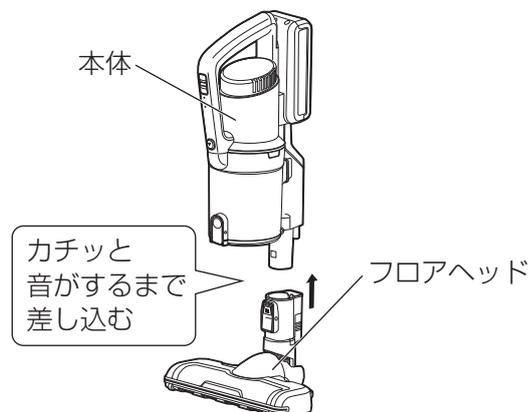
- ①本体に延長パイプを差し込んでください
- ②延長パイプにフロアヘッドを差し込んでください



※組み立てた後は、倒れないように横に寝かせるか、スタンドを使用して立てかけてください。

ハンディクリーナーとして使用するとき

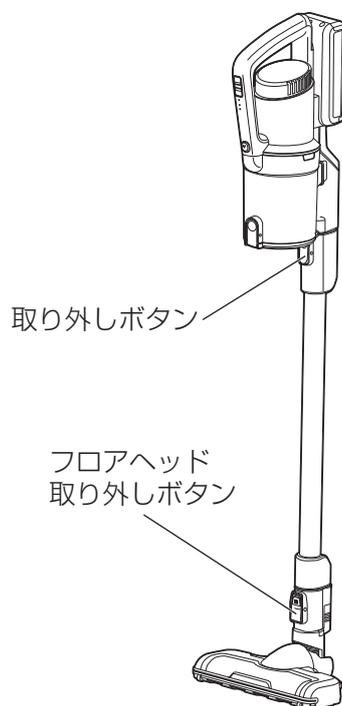
- 本体にフロアヘッドを直接差し込んでください。



※組み立てた後は、倒れないように横に寝かせて置いてください。

延長パイプ・フロアヘッドの取り外しかた

- フロアヘッドを取り外すには、フロアヘッド取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。
- 延長パイプを取り外すには、取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。



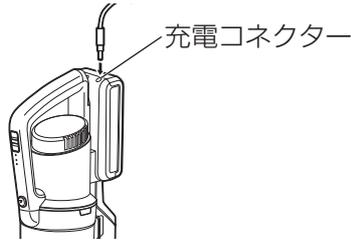
使いかた

■充電

- バッテリーは、購入時点では十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。充電完了までにかかる時間は、約4時間半です。

1 充電プラグを本体につなぐ

充電プラグを、本体上部にある充電コネクタに、奥まで差し込んでください。

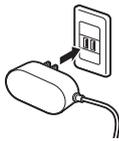


1 標準/ターボモードボタンを押して運転モードを選ぶ

- ・ 標準/ターボモードボタンを押すと、標準モードで運転を開始します。標準/ターボモードボタンを再度押すと、ターボモードに切り替わって運転します。
- ※ 標準/ターボモードボタンを押すたびに、標準とターボのモードが切り替わります。



2 充電アダプターをコンセントに差し込む

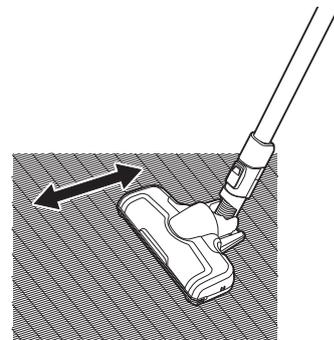


- ・ バッテリーランプが点灯し、充電を開始します。
 点灯
- ・ 充電が完了すると、バッテリーランプは消灯します。
 消灯

2 掃除する

床など

- ・ フロアヘッドを使用して、前後にゆっくりと動かしながらごみを吸い取ってください。
- ・ たたみを掃除するときは、たたみの目に沿ってフロアヘッドを動かしてください。



バッテリーについて

- 充電中に、バッテリーや充電アダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電時間・使用時間は、温度や使用状況により変化します。
- 充電は、室温5～35℃の範囲で行ってください。室温が低かったり、直射日光が当たるなどして高温になると、正常に充電されず、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。
- 長期間(10日以上)充電せずに放置したときは、必ず充電してから使用してください。

3 掃除が終了したら、切ボタンを押して運転を停止する



■バッテリー残量について

- ・ バッテリー残量が少なくなると、バッテリーランプが点滅してお知らせします。

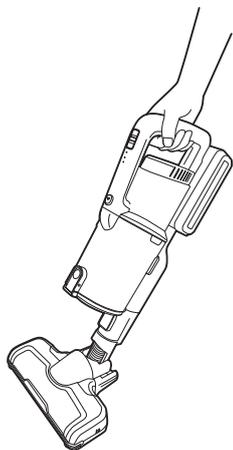


バッテリーランプ	バッテリー残量
ゆっくり点滅	少ない
速く点滅(しばらくすると消灯)	残量なし

- ・ ランプが点滅したら充電してください。

■ハンディクリーナーとして使用する

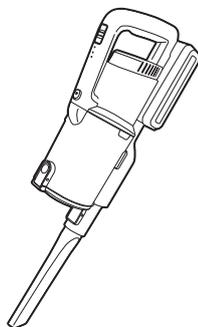
- ・延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとしても使用することができます。



- ・標準/ターボモードボタンでモードを選んで運転を開始、切（停止）ボタンで運転を停止してください。

■すき間ノズルを使用する

- ・狭いところのごみを吸い取るには、すき間ノズルを使用してください。



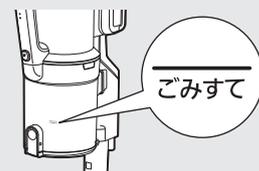
■ごみ捨て



注意

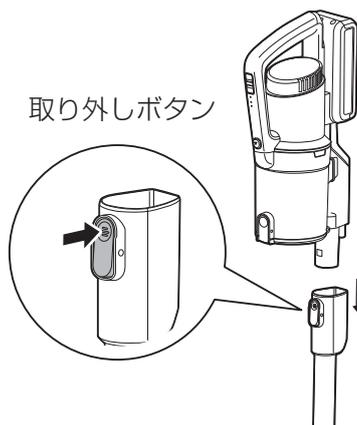
- ごみ捨ては、必ず電源を切り運転を停止させてから行ってください。
- 運転中はダストカップを開けないでください。

- ダストカップのごみは、**ごみすて**ライン以上になる前に捨ててください。
- ごみはためずに、掃除のたびに捨ててください。

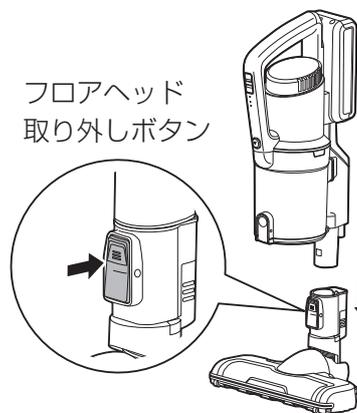


1 延長パイプ・フロアヘッドを本体から取り外す

- ・取り外しボタンを押しながら延長パイプを引き抜いてください。



- ・ハンディークリーナーとして使用している場合は、フロアヘッド取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。

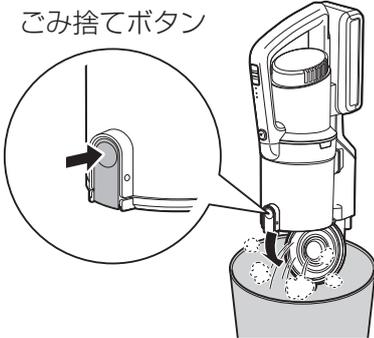


2 ごみを捨てる

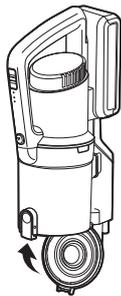
- ダストカップのごみ捨てボタンを押すと、ダストカップ底ふたが開いて、ごみを落とすことができます。

※ごみが飛び散らないように、必ずごみ箱の上で開いてください。

ごみ捨てボタン

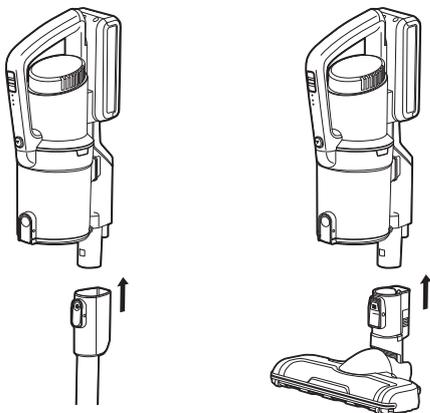


- ごみ捨て後、ダストカップ底ふたを、カチッとなるまでしっかり閉じてください。



3 延長パイプ・フロアヘッドを本体に取り付ける

- 本体に延長パイプを差し込んでください。
- ハンディークリーナーとして使用する場合は本体にフロアヘッドを差し込んでください。



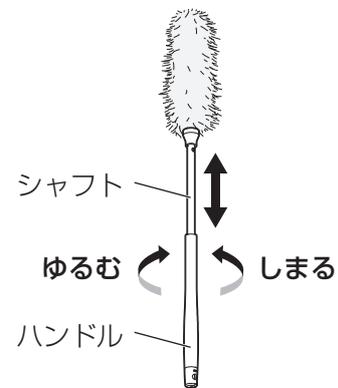
■ 静電モップの使いかた

静電モップは、スタンドのモップ帯電ケースに抜き差しすることで帯電して、効率よくごみやほこりを吸着することができます。

ごみやほこりを吸着した静電モップを、スタンドの静電モップ用吸い込み口に入れ、前後に動かすと、静電気を除去しながら、静電モップについたごみ・ほこりをクリーナーで吸い取ることができます。

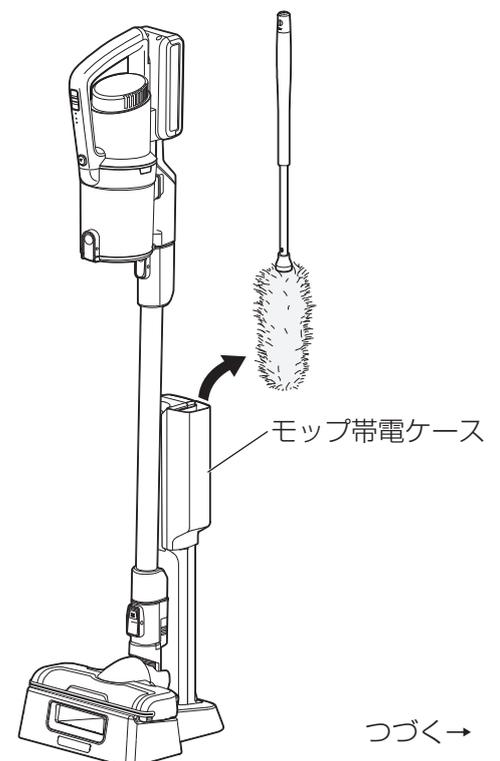
静電モップは、ハンドルを伸縮することができます。

- ハンドルを時計方向に回してロックをゆるめ、長さを調節したら、ハンドルを反時計方向に回してロックしてください。



1 静電モップで掃除する

- モップ帯電ケースから静電モップを取り外して使用してください。
- 静電モップは、クリーナーでは届きにくい棚の上などを掃除するのに適しています。

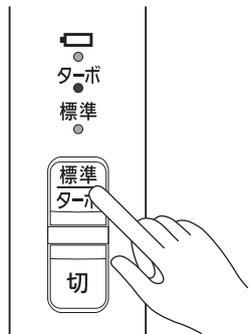


つづく→

使いかた つづき

2 クリーナーをスタンドに立てかけて運転する

- ・標準/ターボモードボタンを押してください。
- ※ごみが取れにくいときは、ターボモードを選んでください。



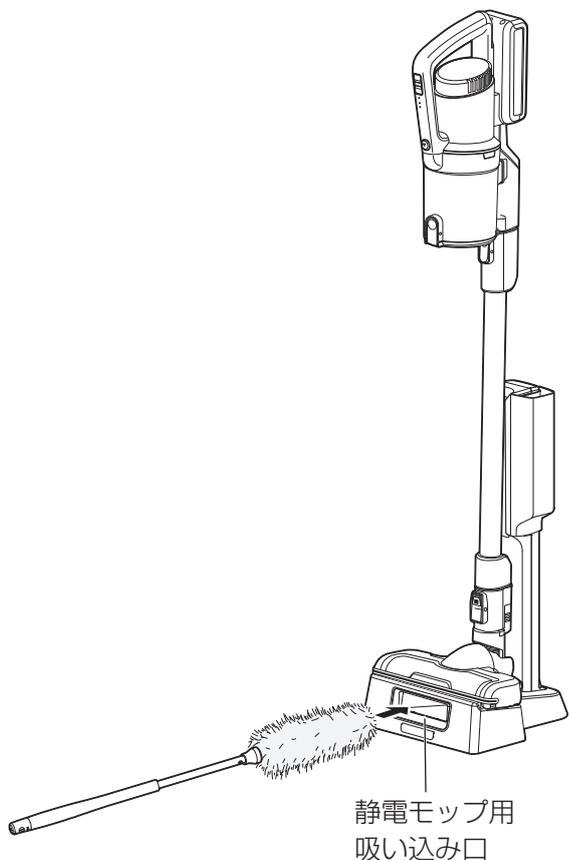
4 終了したら、切ボタンを押して運転を停止する



3 スタンドの静電モップ用吸い込み口に静電モップを差し込み、ごみを吸い取る

- ・静電モップを前後に動かすと、除電プレートで静電気を除去しながら、静電モップの汚れを吸い取ることができます。
- ※静電モップの掃除は、バッテリーの残量が十分にある状態で行ってください。

- ・終了したら、静電モップをモップ帯電ケースに収納してください。



お手入れ



注意

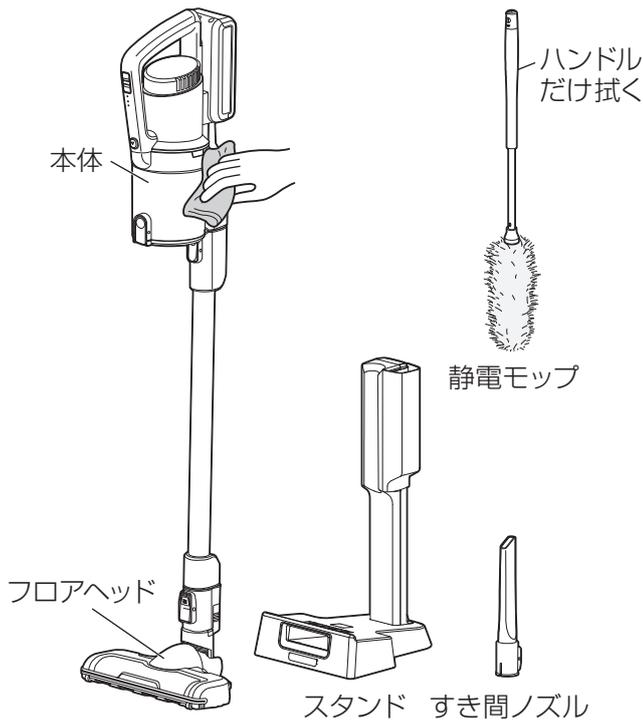
- お手入れは、必ず運転を停止し、スタンドから外し、充電アダプターを抜いて行ってください。
- クリーナー・スタンド・充電アダプターには、水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。

本体・フロアヘッド外側・スタンド・すき間ノズル・静電モップハンドル

1週間に1回程度

- ・水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ります。
- ・汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないようにかたく絞った布などで水拭きしてください。



静電モップ・モップ帯電ケース

汚れが目立ってきたら

- ・モップ帯電ケースを水洗いし、よく水を切り、よく乾かしてください。
- ・静電モップは、シャフト先端のモップ取り付けボタンを押して取り外します。モップ部を水洗いして、よく水を切り、よく乾かしてください。

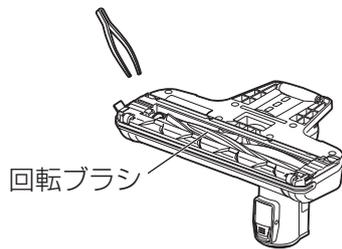


モップ部を取り外すには、ハンドルのシャフト先端のモップ取り付けボタンを押しながら、モップ部を引き抜いてください。指で押しにくいときは、ペン先などで押しってください。

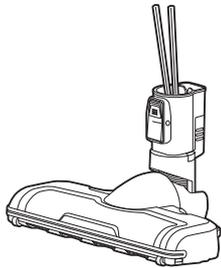
お手入れ っづき

フロアヘッド ごみがつまったら

- 回転ブラシや吸い込み口にゴミがからみついたら、ピンセットなどで取り除いてください。



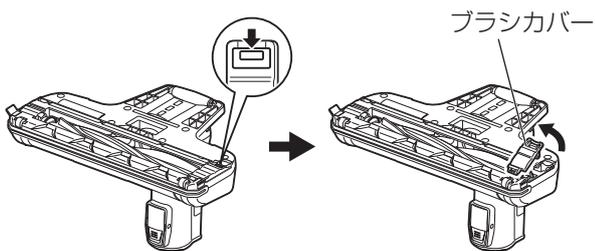
- フロアヘッド内部にごみがつまると、吸引力が低下します。
定期的に点検して、ごみがつまっていたら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。



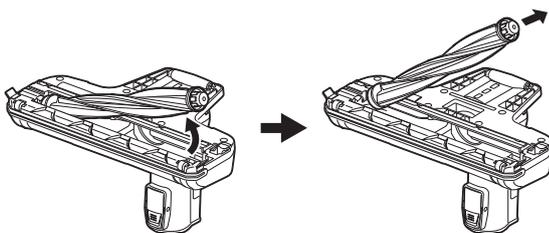
回転ブラシ 汚れが目立ってきたら

1 ブラシカバーを取り外す

- ブラシカバーのつめを押し下げて手前に引き、ブラシカバーを取り外します。



2 回転ブラシを外す

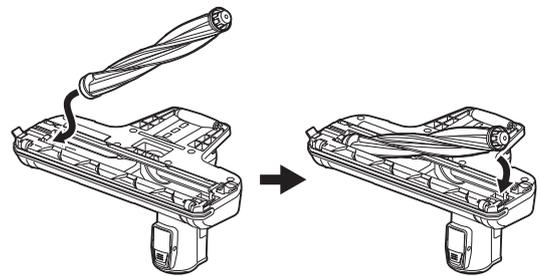


3 回転ブラシを水洗いする

- ※ 回転ブラシにごみがからみついているときは、水洗いする前にはさみやピンセットなどで取り除いてください。
- 水洗いした後、よく乾かしてください。

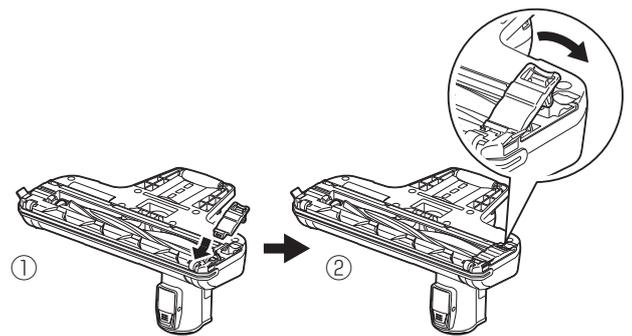


4 回転ブラシを取り付ける



5 ブラシカバーを取り付ける

- ブラシカバーの先端をフロアヘッドの前端内側に引っ掛け、カチッと音がするまで押し込んで、ブラシカバーを取り付けます。

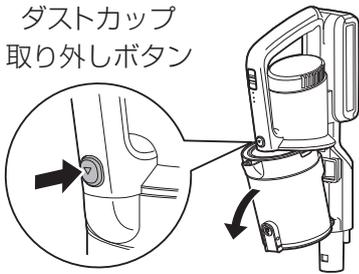


ダストカップ 2か月に1回程度

1 ダストカップを本体から取り外す

- ・ダストカップ取り外しボタンを押してロックを外し、ダストカップを前に引いて取り外します。
- ※ダストカップ取り外しボタンを押さずに無理に取り外すと、破損の原因になります。

ダストカップ
取り外しボタン



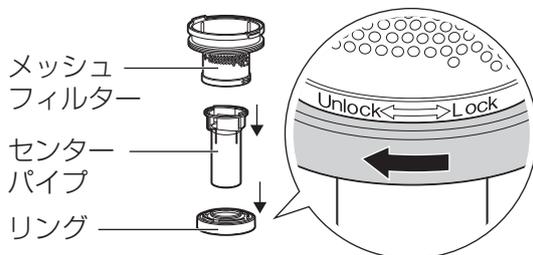
※ダストカップにごみが入っていたら、捨ててください。

2 サイクロンユニットと排気フィルターを取り外す



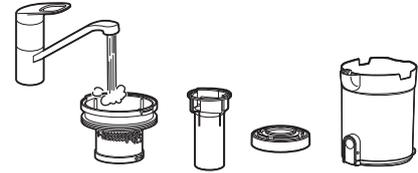
3 サイクロンユニットを分解する

- ・サイクロンユニットのリングをUnlockの方向に回し、センターパイプをメッシュフィルターから外します。

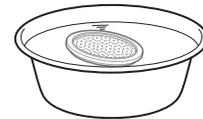


4 ごみを落とし、水洗いする

- ・サイクロンユニット(メッシュフィルター・センターパイプ・リング)とダストカップは、軽くたたいてごみを落とした後、水洗いしてください。



- ・排気フィルターは水につけてすすぎ洗いしてください。

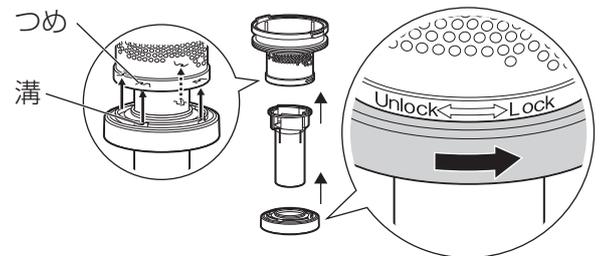


- ・水洗いした後、よく水を切り、よく乾かしてください。

※水分が残っていると、吸い込まれてモーターの故障の原因になります。排気フィルターは、風通しの良いところで十分に中まで乾燥させてください。

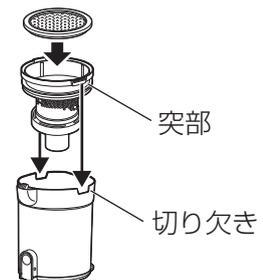
5 逆の手順でダストカップを組み立てる

- ・センターパイプをメッシュフィルターに差し込み、メッシュフィルターをつめをリングの溝に差し込んで、リングをLockの方向に回して取り付けます。



- ・サイクロンユニットの突部を、ダストカップケースの切り欠きに合わせて、まっすぐ奥までしっかり取り付けてください。

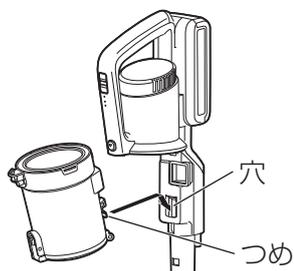
- ・排気フィルターは、サイクロンユニットの上にはまるように、上下を合わせて取り付けてください。



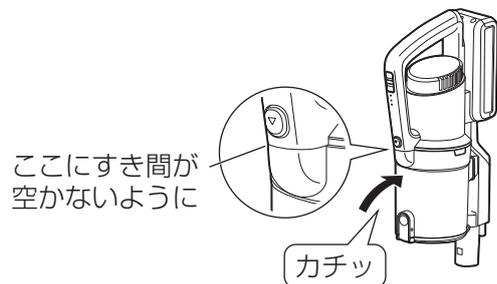
お手入れ つづき

6 ダストカップを本体に取り付ける

- ①ダストカップ背面のつめを、掃除機本体の穴に差し込み、

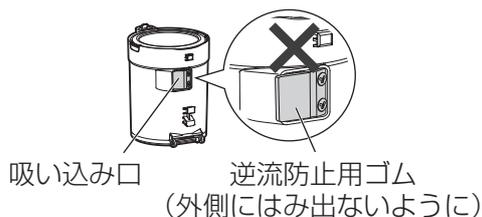


- ②ダストカップを、カチッと鳴るまで押し込みます。



※掃除機本体とダストカップの間にすき間が空かないように、確実にダストカップを押し込んでください。

※ダストカップ背面の吸い込み口には、逆流防止用のゴムが付いています。ゴムが外に飛び出ていると、ダストカップを取り付けできません。外に飛び出ている場合は、内側に押し込んでください。



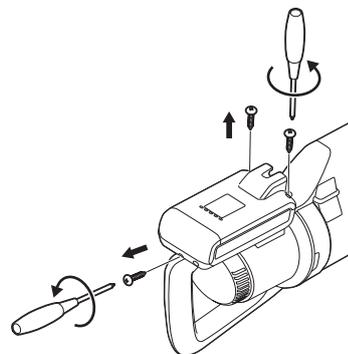
製品の廃棄のしかた

本機を廃棄するときは、バッテリーを取り外してから、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

■バッテリーの外しかた

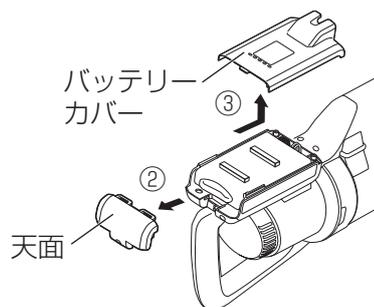
1 バッテリーカバーを外す

- ①ねじを外す



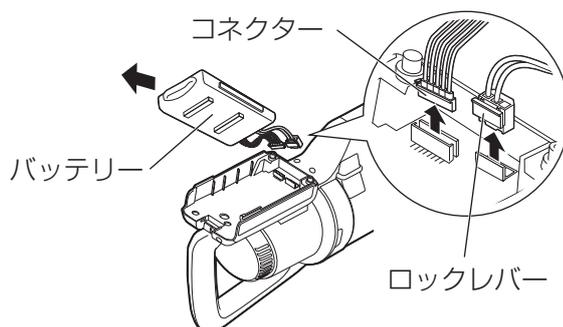
- ②天面を外す

- ③バッテリーカバーを外す



2 コネクターを外す

- ・コネクターのロックレバーを押さえて、本体から抜き取ります。



使用済みバッテリーについて

- ※取り外した使用済みバッテリーは、端子部分をテープで絶縁し、リサイクル協力店にお持ちください。一般家庭ごみとして捨てないでください。



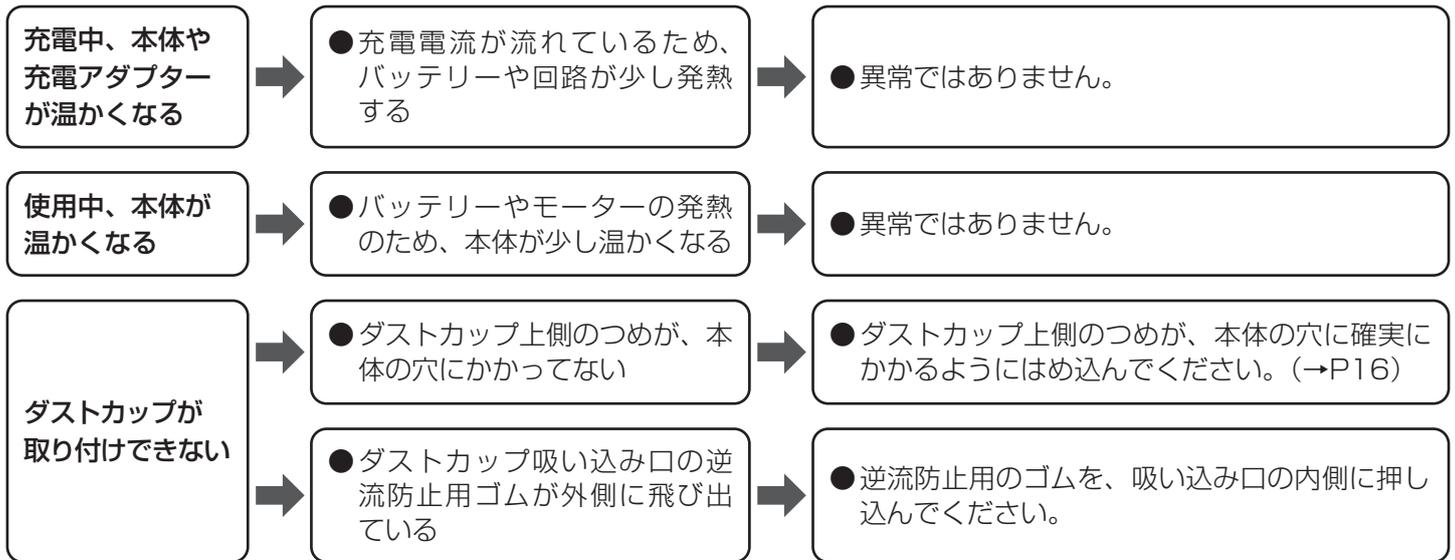
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる理由	処置
電源が入らない (動作しない)	● バッテリーが消耗している	● 本機を充電プラグにつないで、充電してください。
吸引力が弱い	● バッテリーの残量が少ない	● 本機を充電プラグにつないで、充電してください。
	● ダストカップの底ふたがきちんと閉まっていない	● ダストカップの底ふたをきちんと閉めてください (→P11)
吸引力が弱い 運転音が大きい	● ダストカップにごみがたまっている	● ごみを捨ててください。(→P10) ● ごみすてライン以上にごみをためないでください。
	● 排気フィルターが目詰まりしている	● ダストカップを取り外して、排気フィルターをお手入れしてください。(→P15)
	● フロアヘッド・延長パイプにごみがつまっている	● フロアヘッド・延長パイプをお手入れしてください。(→P13～14)
充電しても 運転時間が短い	● 室温が低すぎる場所や、高すぎる場所で充電すると正常に充電できないことがある	● 5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
	● バッテリーが寿命に達している	● バッテリーの交換は、修理専用コールへ依頼してください。
充電されない	● 充電アダプターがコンセントに確実に差し込まれていない	● 充電アダプターをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 本体の充電コネクタに充電プラグが確実に差し込まれていない	● 本体上部にある充電コネクタに、充電プラグを確実に差し込んでください。
充電時、バッテリーランプが消えない	● 室温・使用時間などにより充電時間が長くなることもある	● 5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
		● 室温・使用時間などにより、充電時間が長くなる場合があります。6時間以上充電してもバッテリーランプが消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールへご連絡ください。
回転ブラシが止まる	● 回転部にごみやひもが巻きついたり、つまっていたりする	● フロアヘッドをお手入れしてください。(→P14)

故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告 ●自分で分解・修理・改造しないでください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

バッテリーの交換について

バッテリーの性能が低下して、寿命と思われるときは、ご要望により有料にて新しいバッテリーと交換いたします。バッテリーの交換は、修理専用コールへご依頼ください。

仕様

集じん容積		0.3L
使用温度		0～35℃
充電温度		5～35℃
連続使用時間※1	標準	約45分
	ターボ	約17分
バッテリー		リチウムイオン2次電池
バッテリー容量		2,000mAh
バッテリー寿命※2		繰り返し充電約500回
定格電圧		DC18V
充電電源 (充電アダプター)	入力	AC100-240V、50-60Hz
	出力	DC21V、0.5A
充電時間		約4時間半 (室温・使用時間などにより充電時間が長くなることもある)
製品寸法	本体のみ	幅252×奥行230×高さ1090mm
	スタンド設置時	幅252×奥行281×高さ1150mm
製品質量	フロアヘッド・延長パイプ・ バッテリー含む(モップ帯 電ケース含まず)	2.2kg
	スタンド	1.2kg
付属品		充電アダプター、スタンド、 すき間ノズル、静電モップ、モップ帯電ケース

※1 満充電、バッテリー初期温度：20℃

※2 バッテリーの寿命は周囲の温度・使用頻度など、ご使用の環境や条件により変化します。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

 <p>愛情点検</p>	<p>長年ご使用の充電式スティッククリーナーの点検を！</p>	
	<p>こんな症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ボタンを押しても、運転しないときがある ● 充電アダプター・充電コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする ● 充電コードに破れがある ● 運転中に異常な音や振動がする ● その他の異常や故障がある

充電式サイクロンスティッククリーナー IC-SLD10

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ※付属品及び消耗部品を除く	
お客様	お名前		住所・店名
	ご住所 〒		
電話 () -		※販売店	電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通信料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールアドレスにご記入のうえ送信してください